

個人 7

受 付 午前・午後 2年 8月 25日 9時 00分

一般質問（代表 個人） 通告書

令和 2年 8月 25日

尾張旭市議会議長 殿

氏 名 谷 口 武 司

尾張旭市議会会議規則第50条第1項の規定により 9 月
定例会において別紙のとおり質問したいので通知します。

なお、質問項目の件数及び質問方法は、下記のとおりです。

記

1 質問事項 3 件

2 質問方法

	1回目 一括質問、一括答弁 再質問以降 質問項目（大項目）ごとの一問一答
<input type="radio"/>	1回目から 質問事項（大項目）ごとの一問一答

↑ 選択する方法に○を付す。



<p>質問事項</p> <p>No. 1</p>	<p>G I G Aスクール構想前倒しによる影響と、教育現場での課題と可能性について</p>
<p>要旨</p>	<p>令和2年3月から5月における小中学校の休業要請は、私たち子育て世代に大きな影響をもたらしました。この事態は、我々も子どもたちも教職員においても初めての経験でありました。休業要請期間中同世代の親からよく聞こえてきたのは、「9月入学の可能性と、オンライン教育がなぜ進まないのか」との声でした。</p> <p>そのような事態の中注目されたのがG I G Aスクール構想という言葉と内容でした。G I G Aスクール構想とは、2019年12月に文部科学省から発表されたプロジェクトで、G I G AはGlobal and Innovation Gateway for Allの略で小中学校の児童生徒に1人に1台PCと全国の学校に高速大容量の通信ネットワークを整備し、多様な子どもたちに最適化された創造性を育む教育を実現する構想です。このG I G Aスクール構想は令和5年を事業完了としておりますが、今現在時期を前倒しし積極的に推し進められています。本市教育行政では県の指導を受けながら進められているようですが、G I G Aスクール構想前倒しによる影響と、教育現場での課題と可能性についてお伺いいたします。</p> <p>(1) G I G Aスクール構想前倒しによる影響について</p> <p>ア 端末の選定と配布時期について</p> <p>イ 高速大容量の校内通信ネットワーク完備時期について</p> <p>ウ デジタル教材などデジタルコンテンツの内容と決定時期について</p> <p>(2) 学校・教育での課題と可能性について</p> <p>ア オンライン授業の課題について</p> <p>イ タブレット端末を利用した学習の可能性について</p>

※申し合わせ事項に留意する。

質 問 事 項 No. 2	本市のコロナウイルス検査と対応について
要旨	<p>コロナウイルス感染症のPCR検査人数と医療体制について、第1波と呼ばれた時期から様々な意見が出され、国内だけでなく海外との比較もされてまいりました。</p> <p>インフルエンザウイルスのような紫外線の強い季節にはいったん収束してくれるだろうなどといった期待は大きく外れ、7月中旬からの第2波では、途上各国だけでなく多くの国で経済を保障する限界値が見え隠れするようになり、我が国においても第1波であれだけ多くの児童生徒の犠牲を払い学業を止めたのは何だったのかと思うような現状です。</p> <p>しかしながら、現実問題として経済を回さなければ、新型コロナウイルスによる疫病被害よりも経済的な被害のほうが計り知れず、人命を第一に考えつつ必要な経済活動を行っていかねばならないと思われまます。そこで、本市における現時点でのコロナウイルスへの検査や対応についてお伺いいたします。</p> <p>(1) PCR検査について</p> <p>ア PCR検査の現状について</p> <p>イ 民間医療機関でのPCR検査について</p> <p>ウ 検査を希望する事業者へのPCR検査制度について</p> <p>(2) 市内事業所での感染者発生時の対応</p> <p>ア 公共施設の場合の対応について</p> <p>イ 民間事業者の場合の対応について</p> <p>(3) 瀬戸保健所との連携状況について</p> <p>(4) 市民への注意喚起を促すアナウンスについて</p>

※申し合わせ事項に留意する。

<p>質問事項</p> <p>No. 3</p>	<p>コロナ禍における自治会活動について</p>
<p>要旨</p>	<p>コロナウイルス感染症への対応により、本年度の自治会活動はほぼできない状態が続いています。第1波の時期は昨年度との引継時期でもあり、総会自体も市内全ての自治会が書面決議となっていると思われます。7月8月の盆踊りや10月の運動会は中止されたり中止が決まったりしています。</p> <p>11月には各自治会において校区ごとの防災訓練などが今後予定されておりますが、今後の事業に関してコミュニティ助成金を出している立場としてどのような助言をしていくのでしょうか。</p> <p>(1) 自治会活動への助言について</p> <p>ア 今年度の自治会活動について</p> <p>イ コミュニティ助成金について</p> <p>ウ 次年度以降の引継ぎに対する助言について</p> <p>(2) コロナ禍におけるICT活用事例回覧板アプリについて</p>

※申し合わせ事項に留意する。